

令和2年度 全国学力・学習状況調査 対策のヒント【小学校算数】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	対策例の概要（国立教育政策研究所発行資料による）	関連する問題	参考	教科書	学年	時期	関連する主な単元
1 (4)	縦80m、横50mの長方形の面積を求める式を書く。	長方形の面積の求め方について理解している。	量と測定	面積の測定については、長さやかさ等の量についての測定の学習と同様に、その大きさを数値化して表すことのように気付くことができるように指導する。 指導に当たっては、正方形や長方形では、単位正方形が規則正しく並んでいるので、縦や横の長さを、例えば1mを単位として測っておけば、その数値について(縦)×(横)（もしくは(横)×(縦)）の計算をした結果が、1mを単位とした大きさとして表されることになるということを理解できるようにする。	H22 A 5 (2) H21 A 6 H19 A 5 (1) (2)	H22報告書 P162～165 H21報告書 P236～238 H21授業のアイデア例 P 7 H19報告書 P143～146	東京書籍	4年	1月	広さの表し方を考えよう〔面積のはかり方と表し方〕
2 (2)	示された四角柱について、かけ算の式がどのようなことを表しているのかを書く。	底面が正方形の四角柱の構成要素や性質を基に、示された乗法の式の意味を記述できる。	数と計算 数量関係 図形	図形の構成要素である辺の数や面の数、辺の長さ等を基に、立体図形と式とを関連付けて説明することができるように指導する。 指導に当たっては、本設問を用いて、四角柱の側面に貼る長方形の辺の長さの求め方を式で表現し、図や具体物と関連付けて他者に分かりやすく説明する活動を取り入れる。	H31 1 (3) H28 B 5 (1) H27 A 6 (1) H26 A 7 H25 B 3 (1)	H31報告書 P20～28 H31授業アイデア例 P 9～10 H28報告書 P92～96 H28授業アイデア例 P13～14 H27報告書 P50～54 H26報告書 P48～49 H25報告書 P68～73	東京書籍	2年 2年 5年	10月 11月 3月	新しい計算を考えよう〔かけ算(1)〕 九九をつくろう〔かけ算(2)〕 立体をくわしく調べよう〔角柱と円柱〕
3 (2)	1/4 Lの図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く。	1Lの大きさを表している図を基に、異分母の分数の加法における示された二つの図について解釈することができる。	数と計算	分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数の加法に帰着して考察できるように指導する。 指導に当たっては、本設問を用いて、分数で表された量がどのような量かを言葉や図で説明したり、1Lが図のどこに当たるのかを確認したりする活動を取り入れる。また、分母と分子を用いて表現された分数の意味や大きさに着目して、あらかじめ結果の大きさについて見積もったり、得られた結果が問題に合っているかどうかを、問題場面と対応させて検討したり、確かめたりする活動を取り入れる。	H22 A 2 (2)	H22報告書 P148～154 H22授業アイデア例 P6	東京書籍	3年 5年	12月 10月	分数を使った大きさの表し方を調べよう〔分数〕 分数のたし算、ひき算を広げよう 〔分数のたし算とひき算〕
3 (4)	0.75+0.9について、ある数のいくつかを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く。	示された考えを基に、数の相対的な大きさを基に、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を記述できる。	数と計算	小数の加法及び減法の計算は、小数の仕組みの理解の上に行うようにし、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるように指導する。 指導に当たっては、被加数と加数のそれぞれ的小数が、同じ単位によって整数に置き換えられていることを丁寧に確認する。例えば、本設問を用いて、「0.75と0.9は、0.1や0.01を何個集めた数か。」というように、単位となる数を変えて小数を相対的に捉えて比較する活動を取り入れる。	H27 A 1 (2) H25 A 1 (2)	H27報告書 P24～29 H25報告書 P24～32	東京書籍	4年	6月	小数のしくみを調べよう〔小数のしくみ〕
4 (1)	50個の図に対して、40個を表している図を選び、40個は50個の何%であるのかを書く。	基準量と比較量の関係を表している図を判断し、百分率について理解している。	数量関係	問題場面から基準量と比較量を正しく捉え、(比較量)÷(基準量)で割合を求めることができるようにすること、及び基準量を100として、それに対する割合で表す方法が百分率であることを理解できるように指導する。 指導に当たっては、数量の関係を言葉と図や式を関連付けるような活動を取り入れ、図で表した関係を式にしたり、式に表した関係を図で表したり、図や式の意味を言葉で説明したりする活動を取り入れる。	H30 A 8 H29 B 5 (1) (2) H28 A 8 H28 A 9 (2) H26 B 5 (2) H24 A 3 (1) H24 B 5 (3)	H30報告書 P56～58 H29報告書 P91～101 H29授業アイデア例 P13～14 H28報告書 P55～56 H28報告書 P57～62 H26報告書 P82～89 H26授業アイデア例 P21～22 H24報告書 P186～193 H24授業アイデア例 P7～8 H24報告書 P260～269	東京書籍	5年	1月	比べ方を考えよう(2)〔割合〕
4 (2)	ヘチマのくきの長さを表している棒グラフを基に、のびたくきの長さを表している棒グラフを選び、選んだわけを書く。	示された棒グラフを基に、ほかの観点で表している棒グラフを棒の長さに着目して判断し、判断の理由を記述できる。	数量関係	資料の特徴や傾向をある観点から読み取ることができるようにするとともに、目的に応じてその資料を他の観点で考察できるように指導する。 指導に当たっては、本設問を用いて、グラフのどの部分に着目して読み取ったのかを、グラフと関連付けて説明し合う活動を取り入れる。そして、目的に応じて表された2つのグラフから読み取ることができる情報を関連付けながら考察する活動を取り入れる。	H30 B 3 (1) H20 B 5 (2) (3)	H30報告書 P76～80 H30授業アイデア例 P11～12 H20報告書 P228～234	東京書籍	3年	3月	わかりやすく整理して表そう〔ぼうグラフと表〕

今年度の全調査問題は、学力向上推進チームHPIに設問別ワークシートとして掲載します(10月下旬予定)ので、ダウンロードして活用できます。

令和2年度全国学力・学習状況調査の問題のうち、昨年度までの調査で、本県児童生徒に課題がみられた問題と同様の出題趣旨の問題に関して、その概要及び「授業アイデア例」等のページや教科書の関連単元等をまとめました。各学校の実態に応じて活用してください。